

2017年7月20日

東京大学 地球観測データ統融合連携研究機構 特任研究員 公募

東京大学 地球観測データ統融合連携研究機構では、下記の要領で特任研究員を公募します。
関係者への周知もあわせてお願い申し上げます。

記

1. 公募人数： 特任研究員 1名
2. 所 属： 東京大学 地球観測データ統融合連携研究機構 (EDITORIA)
3. 勤務場所： 東京大学 本郷キャンパス (東京都文京区本郷7丁目3-1)
4. 着任時期： 決定後できるだけ早い時期。
5. 任 期： 採用日から2018年3月31日。
雇用の更新は予算の状況、勤務成績の評価に基づいて単年度毎に行います。
ただし、最長任期は2021年3月31日までとなります。
6. 職務内容：
以下のいずれか、あるいは複数の職務に従事します。
いずれも一人で取組むのではなく、研究室の教員や研究員と共同で進めることとなります。
 - ・ 発電ダムの放流操作の最適化に関する研究開発
 - 水エネルギー収支分布型水循環モデル (WEB-DHM) を用いて、発電ダムの洪水前の事前放流による被害軽減効果と、降雨予測が外れたときの損失費用などを比較し、経済的な効率性も含めた最適なダム操作のあり方を検討する。
 - ・ 大規模水害のリスク評価手法の開発
 - 大規模水害発生時の人的・経済的被害や波及影響等のリスクの評価手法を開発するとともに、流域の詳細な地形データによる氾濫計算結果を基に、地球環境情報プラットフォーム (DIAS) 上で被害推計を行い、大規模水害リスクの見える化を行う。
7. 応募資格：
 - ・ 学位 (博士) を有する (着任までに取得可能を含む)、あるいはそれと同等の知識と経験を有すると認められる者。
 - ・ 職務内容に関するあるいは類似する研究開発の経験があることが望ましいが、必須ではなく、職務内容に関する研究に熱意を持っていること。
 - ・ 数値シミュレーションや統計解析などある程度の計算スキルを有すること。
8. 勤務形態： 常勤 (特定有期雇用教職員)、裁量労働制

9. 待遇： 東京大学の就業規則に基づき特定有期雇用教職員の待遇に従います。
共済組合、雇用保険、労災保険については、法令の定めるところにより加入し、
通勤手当は規定に基づき支給します。

10. 応募書類：

- (1) 履歴書（写真添付、メールアドレス記入、学歴、職歴、学位、所属学会および団体、賞罰）
- (2) 上述の職務内容にどのように貢献するかに関する計画や提案、抱負
（A4版で2枚程度、様式自由）
- (3) これまでの研究の概要（A4版で2枚程度、様式自由）
- (4) 研究業績一覧（原著論文、総説・解説・著書、国際会議（招待講演と一般発表を分ける）、
特許、受賞、外部資金獲得実績等に適宜分類。論文等は全著者名を記載）
- (5) 主要論文の抜刷または複写（5篇以内）
- (6) 推薦書1通、推薦者のメールアドレス

11. 選考方法： 応募書類による書面審査。ただし、面接を行うことがあります。
面接に必要な旅費、滞在費等は応募者の負担とします。

12. 応募締切： 2017年9月12日（火）必着。ただし、書類が届いたものから審査を行い、
この締切日より前に採用者を決定することがあります。

13. 書類送付先：

〒113-8656 東京都文京区本郷7丁目3-1

東京大学 大学院工学系研究科 社会基盤学専攻 池内幸司宛

- ※ 封筒に「EDITORIA 特任研究員公募書類在中」と朱書きし、
簡易書留にて郵送してください。

14. 本件に関する問い合わせ、連絡先：

東京大学 大学院工学系研究科 社会基盤学専攻 教授 池内幸司

(email) web-admin@hydra.t.u-tokyo.ac.jp (電話) 03-5841-6113

- ※ アットマークを半角文字に変えてください。

15. その他：

- ・ 採否の決定は個別に連絡することとし、応募書類は返却いたしません。
- ・ 応募書類は本採用選考の用途に限り使用し、個人情報には正当な理由なく第三者への開示、
譲渡及び貸与することは一切行いません。